

令和4年度 第2回 金指小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年7月1日（金） 13時15分から15時15分まで
- 2 開催場所 金指小学校 さかみちホール
- 3 出席委員 宮澤 勝實、青嶋 伸介、野沢 英年、菊地 幸江、黒瀬 憲太郎
- 4 欠席委員 内山 康子、巨島 信慶、飯田 博乃
- 5 学 校 山村 健一（校長）、縣 倫子（教頭）、野中 律宏（CS担当教員）  
入手 佑香（CSディレクター）
- 6 教育委員会 小川 誠司（教育総務課）
- 7 傍 聴 者 0人
- 8 協議事項
  - (1) 会長挨拶
  - (2) 校長挨拶
  - (3) 授業参観
  - (4) 熟議
    - ①総合的な学習の時間の取組について（授業参観を基に）
    - ②令和4年度「かなさしポイントウォーク」について
  - (5) その他
- 9 会議録作成者 CSディレクター 入手 佑香
- 10 会議記録

司会の縣教頭から、委員総数8人のうち5人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 会長挨拶

授業参観では、総合的な学習の時間を通して子供たちが金指の地域に対してどのようなイメージを持っているのかとても楽しみにしている。（宮澤会長）

(2) 校長挨拶

4月から総合的な学習の時間で地域に関する学習を進めている。子供たちが地域へ出ていくことに限らず、地域の方に来訪いただき、地域に出て気付いたことや感じたことを教えてもらう活動も行っている。地域を学ぶ子供たちの様子はとても楽しそうで、地域の方も楽しそうに子供たちと関わる姿を見ると、改めて地域に関する学習を進める意義を感じる。本日の授業参観後には、感想等をいただき今後の授業に生かしていきたい。12月に予定しているポイントウォークの進め方について、ご意見を伺い校内で検討する。（校長）

(3) 授業参観

生活科 1年生 「きれいに さいてね」 2年生 「やさいをそだてよう」

## 総合的な学習の時間

- 3年生 「わたしたちの町 “かなさし” 」
- 4年生 「みんなと仲良く暮らす町 “かなさし” 」
- 5年生 「みんなが住みよい町 “かなさし” 」
- 6年生 「いつまでもすてきな町 かなさし” 」

### (4) 熟議

#### ①総合的な学習の時間の取組について（授業参観を基に）

- ◎ 想像以上によく調べ、自分たちが気付かない所まで気付いているように感じた。地域を生かした学習で困っていることを具体的に把握し、どのように地域に繋げていくか考案するため、タブレットで学習していた内容を教えてもらいたい。（宮澤委員）
- ◎ 金指に住む地域の方の中には、金指の町について知らないこともあると思うので、子供たちの学習した内容を発信できるとよい。（宮澤委員）
- ◎ 金指の町について調べることは嬉しいが、学習内容について、重なる部分があるので、学年ごとに焦点を絞ると分かりやすいのではないか。（黒瀬委員）
- ◎ 金指地区を舞台に学習をするので、金指の連合自治会と連携していけると、防災などの学習に繋がるのではないか。（黒瀬委員）
- ◎ 子供たちの着眼点と大人の着眼点の違いを感じた。大人からすると当たり前のように思うことが、子供たちは見方を変えることが出来て素晴らしいと感じた。（青嶋委員）
- ◎ ICTを活用することで、学習方法の幅が広がる一方で、操作に集中しているように感じた。子供たちが顔を見て話し合う時間も取れる工夫をしてもらいたい。（野沢委員）
- ◎ 地域の探究活動支援について、学習内容を教えてくれる方と活動に同行してくれる方の2つ分かれる。2学期の地域学習について具体的な活動の予定は決まっているのか。（宮澤委員）
  - ・ 地域の学習について、子供たちがどこに関心の目を向けるか分からない部分もあるが、教師側でも2学期の探究活動を検討し9月には活動の方向性について見込みをつける。（教頭）
- ◎ ボランティアの人材については、別の機会に話し合う場を設けたい。2学期の活動に合わせて、人材をリストアップして見込みが見つくように資料を準備したいと思う。（宮澤委員）
- ◎ 地域の自主防災を立ち上げた経験を通して、自主防災のいきさつなどを話すことは可能である。できれば資料を示して話をしてあげたいが、かなり前のことなので当時の資料が見当たらない。（青嶋委員）
  - ・ 講師としてお話していただく場合、本日の資料だけではどういった話をするのか情報が不足するので、具体的な学習目的と趣旨をお示ししなくてはならない。（教頭）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

②令和4年度「かなさしポイントウォーク」について

議長の指示により、教務主任から、資料に基づき昨年度の振り返りと説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ◎ 基本的な形は、昨年同様で場所については、実施していないところや総合的な学習の時間の学習に関連付けて行ける場所はどうか。(宮澤委員)
- ◎ コースにより距離が長くなる場合や見学場所が少ない場合があるので、コースの途中で昔の遊びや、一人暮らしのお年寄りのお宅に訪問して手紙を渡してはどうか。  
(黒瀬委員)
- ◎ ポイントウォークについて、子供たちの感想はどうだったのか。遠足気分でみんなと歩くことが楽しかったのか。具体的な場所で金指の文化を学ぶことが良かったのか。どちらを中心に据えるかによりコースと内容が変わってくる。(野沢委員)
  - ・ 子供たちには、ポイントウォークの感想をアンケートしていないが、高学年であれば、地域を知り、リーダーとしての充実感を感じていた。特に風外和尚の紙芝居は好評だった。(教務 野中)
- ◎ 昨年度のコースは、金指の歴史と文化が中心だった。今年は、商業や産業、福祉関係の場所を見学してみるのはいかがでしょうか。具体的には、東名興産で家庭ゴミや産業廃棄物等の処理方法を学び、環境問題について考える。(野沢委員)
- ◎ ポイントウォークの時間は限られている。環境問題を学ぶことは、重要なので対象の学年を絞り、説明を受け時間をかけて学習したほうがよい。(野沢委員)
- ◎ 総合的な学習の時間で子供たちが気になるところを整理してコースに入れてはどうか。昨年度の場所は、大人が目線で決めたが、限られた時間の中ではあるが、子供たちが行きたい場所を選択することもありではないか。(青嶋委員)
- ◎ コースを回るのは子供たちなので、子供の視点で行きたい場所があると楽しめるのではないか。また、総合的な学習の時間で関わりがあったところへの訪問や、お年寄りに手紙を渡しに行くなど、地域の人と関われる活動を入れてみてはどうか。  
(菊地委員)
  - ・ 委員の方々のお話を聞いて、その通りだなと思う点がたくさんあった。具体的には、大人目線の考えになりやすいこと。子供たちが金指の中で気になるところへ行ってみたり、総合的な学習の時間で関わりができた方に活動に関わってもらうことはとてもよい。(校長)
  - ・ 地域の人を意識した活動として、ポイントウォークの時期であれば、子供たちが作成したクリスマスカードや年賀状を地域の方にお届けする活動など検討していきたい。  
(校長)
  - ・ ポイントウォークは、地域の方にも関わっていただき、縦割り班の子供たちが地域を歩きながら楽しい時間を過ごし、金指の町を見直し気付いてもらう時間にしたい。子供たちは今年の紙芝居がとても印象に残っている。また、今年も昔の遊びと場所に関わるクイズは行いたい。(校長)
- ・ 協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

議長から、次回議長については、飯田委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(5) 連絡

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和4年10月24日（月）15時からさかみちホールで開催する旨の報告があった。